

住民への情報伝達手段の現状

市町村において、防災行政無線以外のシステムで住民への情報伝達を実施している状況は次のとおりです。

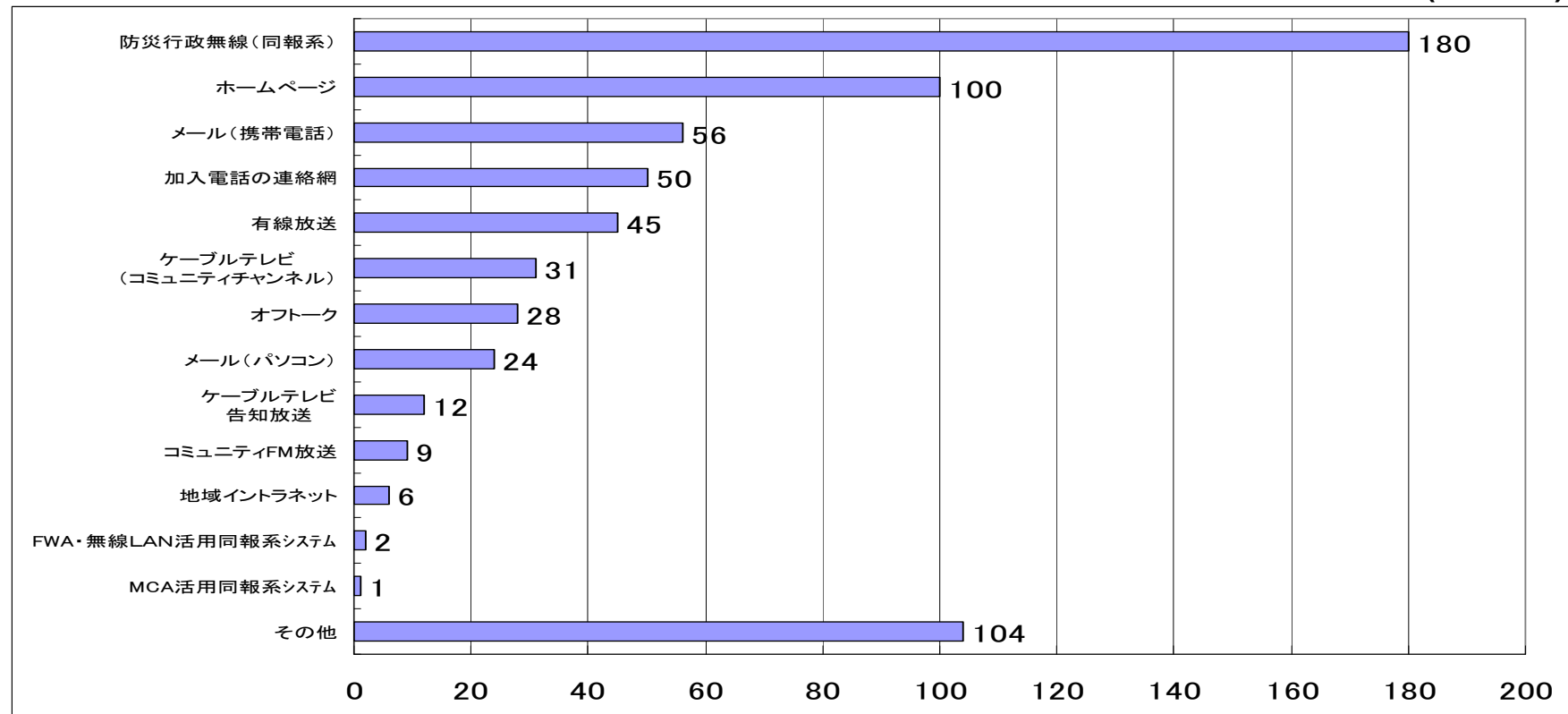
特に、MCA無線を利用したシステムは福岡県において開発され、平成17年8月に全国で初めて直方市で導入されており注目を集めています。また、携帯電話メールによる情報伝達システムは、福岡県や佐賀県で県内全域を対象に導入されているのをはじめとして、他の市町村でも増加しています。

さらに、全世帯にCATVを整備した市町村では、第一報を防災行政無線で提供して、詳細な情報についてはCATVのコミュニティチャンネルでお知らせするなど、それぞれのシステムの特長を生かして利用されています。

また、自治会、町内会等の単位で、無線を利用した伝達手段（防災を主目的としては開設できない。）も構築されてきています。

直接住民への情報伝達手段の現状

H18.7アンケート実施 N=261(複数回答)



その他: 広報車、消防団等の口頭伝達、区長・町内会長からの伝達 等